

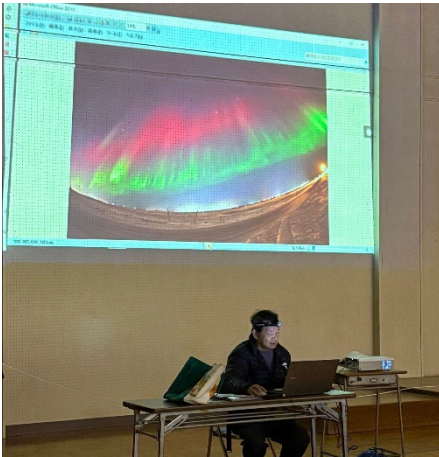
ネイチャーウォッチングだより

令和7年 12 月 3 日(水)

愛知教育文化振興会

協力: 岡崎女子大・短大

Cグループの第2回ネイチャーウォッチング「星空ウォッチング」を、11月29日(土)の夜、岡崎市少年自然の家で開催しました。星空観察は空模様が大きく影響されますが、幸いにも快晴の夜空に恵まれ、予定どおり実施することができ、初冬の月や星空を26組89名の親子の皆さんが楽しみました。



星空について解説される藤井先生

講師は日本天文学会会員の藤井哲也先生。初めに、先生がこれまで観測してこられた豊富な経験をもとに、写真を使ってさまざまな天体について解説していただきました。10年後に日本で見られる皆既日食や、16年後の金環日食のお話を聞いて、とても期待が膨らみました。また、先生が毎年のように訪れているアイスランドのオーロラがスクリーンに映し出されると、参加者の皆さんから驚きの声が上がりました。

今回の観察のメインは上弦の月と土星でした。土星の現在の姿は写真などでよく見るものと違い、輪が一直線になっているそうです。そんな姿が今日の観察会で見られるかもと期待が高まりました。そのほか、最近観察されている彗星の核が分裂してしまった興味深いお話もありました。

藤井先生のお話の後、屋外に準備された天体望遠鏡で月や土星などを実際に観察しました。六つのグループに分かれ、それぞれの望遠鏡を自由に操作して月などを見ました。また、藤井先生が用意された望遠鏡や、自然

の家天体観測所の屋上に設置された2台の望遠鏡で、土星の輪が線状になっていることや月の表面がクレーターで凸凹している様子を確認することができました。夏の大三角やスバル、北極星、ぎょしゃ座のカペラなどから季節の移ろいも感じました。



月のクレーターが見えるよ！



土星の輪が一本線！



参加家族全員集合！

・中学生と高学年の子どもと参加しました。10年後の皆既日食、そして16年後の金環日食の頃には、子どもたちは巣立っているかもしれませんが、いただいた写真はその日のことを忘れないよう、リビングに飾りました。ありがとうございました。(母)

・月のクレーターが見られたのが楽しかった。(子)
・自分の家では見られないものが見られて、楽しかった。(子)

・心が豊かになりました。ありがとうございました。(親)
・初めて土星の輪っかを見る事ができました。(父)